

# マーシャルの人々は今

と き：2018年2月4日（日）2時～4時

ところ：藤沢市民会館第1展示ホール

講 師：武本匡弘さん

参加費 500 円

## 武本匡弘さんプロフィール

プロダイバー

- ・1985年ダイビング会社開設後、いくつかの法人、NPO法人等の設立等に関わる
- ・2009年より祝島～上関原発建設予定地の海で3年間潜り記録撮影、奇しくも最後の潜水が、2011年3月11日だった。  
山口、都内、神奈川にて写真展開催。  
数回にわたるマーシャルへの渡航の後、2016年～2017年自ら操船する帆船で、日本～マーシャル諸島～ミクロネシア巡航を行う。  
日本サンゴ礁学会会員　ビキニふくしまプロジェクト会員



## 講師からのメッセージ

初めてこの国を訪れたほんの十数年前から今日まで、マーシャルも日本も激動の時代が流れています。それらは決して“遠い国での出来事”ではありません。福島原発事故からは、二国間で起きていることが余計二重写しに見えるのです。

主催：ピースリレー・ふじさわ（ユーコープ湘南3エリア会・「虹の会」・藤沢市原爆被災者の会・医療生協かながわ藤沢診療所  
藤沢合唱団・原水爆禁止藤沢市協議会・全日本年金者組合藤沢支部・新日本婦人の会藤沢支部・ふじさわ子どもを守る会）

後援：藤沢市・藤沢市教育委員会・NPOパパラギ“海と自然の教室” 連絡先／見城（0466-36-8916）・島田（090-923-0864）

パパラギ“海と自然の教室”事務局（0466-26-0088）



エニウェトク環礁にあるこのドームは核実験による核汚染土や瓦礫などを埋め、コンクリートで蓋をただけのもの



1954年3月1日の米国による水爆実験で被害を受けたマーシャルでは、3月1日を「追悼記念日」として国民の祝日に行っている。式典パレードで歌いながら行進する学生たち

